

はだか麦「ハルアカネ」の特性

農業研究部・水田農業グループ

1. 研究の背景

現在普及しているはだか麦「トヨノカゼ」は、耐倒伏性や収量性に課題が多く、産地の維持や安定供給のために、優良な新品種への転換が望まれていた。

そこで、現行品種に比べ、やや早生・強稈で栽培性に優れ、収量性が安定しているはだか麦「ハルアカネ」を認定品種へ採用した。

※「ハルアカネ」は、農研機構西日本農業研究センターにおいて育成(2020年1月品種登録出願公表)

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ①現行品種に比べて強稈で耐倒伏性に優れ、出穂期は同程度、成熟期は2～3日早い。
- ②穂数は同程度で、穂長は長く、収量は6%程度高い。検査等級は優れる。
- ③生育量確保のため、排水対策(暗渠・明渠)、11月中下旬播種、生育に応じ中間管理を行う。

表. 調査データ(水田農業グループ、標準播・条播)

品種名	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 程度 (0-5)	子実重 kg/10a	容積重 g/L	千粒重 g	品質		
										概評 (1-6)	検査 等級 (1-5)	ヤケ粒 発生程度 (0-5)
ハルアカネ	4月2日	5月16日	85	6.1	362	0.9	444	865	32.8	1.8	2.1	0.6
トヨノカゼ	4月2日	5月19日	86	4.7	359	2.8	418	859	32.0	2.2	2.7	1.2
差・比	同程度	3日早い	同程度	1.4cm長い	同程度	軽い	6%多い	やや重	やや重	同程度		やや少

注1) 表中の値は、6カ年(2014～2019年播)の平均値である。播種はいずれの試験年も11月17～21日の間に行った。

注2) 倒伏、ヤケ粒の発生程度：0(無)～5(甚)。

注3) 使用ふるい：2.0mm。子実重、容積重、千粒重：水分12.5%換算値。

注4) 品質概評：1(上上), 2(上下), 3(中上), 4(中中), 5(中下), 6(下)、検査等級：1(1等上)～4(2等)～5(規格外)。



3. 期待される効果

- ・農家所得の向上、県内実需者への安定供給。
- ・2021年秋播より、3カ年かけて生産地へ順次導入を行う予定。

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ

TEL:0978-37-1160/FAX:0978-37-1898/所在地:大分県宇佐市大字北宇佐65